

3 . 小学校の英語教育の必修化

(1) 小学校で英語教育を必修とすべきか

すべての保護者及び教員に、小学校で国語や算数などのように英語を教科にしたり、すべての小学校で必ず英語活動を行うことにしたりすべきか聞いたところ(単一回答)、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)と答えた割合は、保護者では70.7%、教員では36.6%だった。

(図3 - 1 , 3 - 2 , 3 - 3 参照)

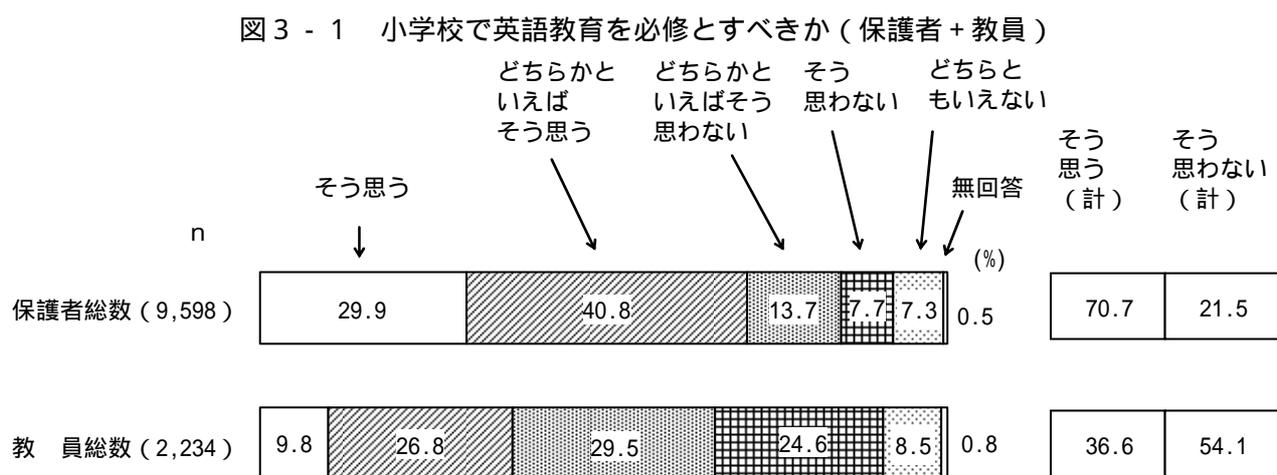


図3 - 2 小学校で英語教育を必修とすべきか（保護者）

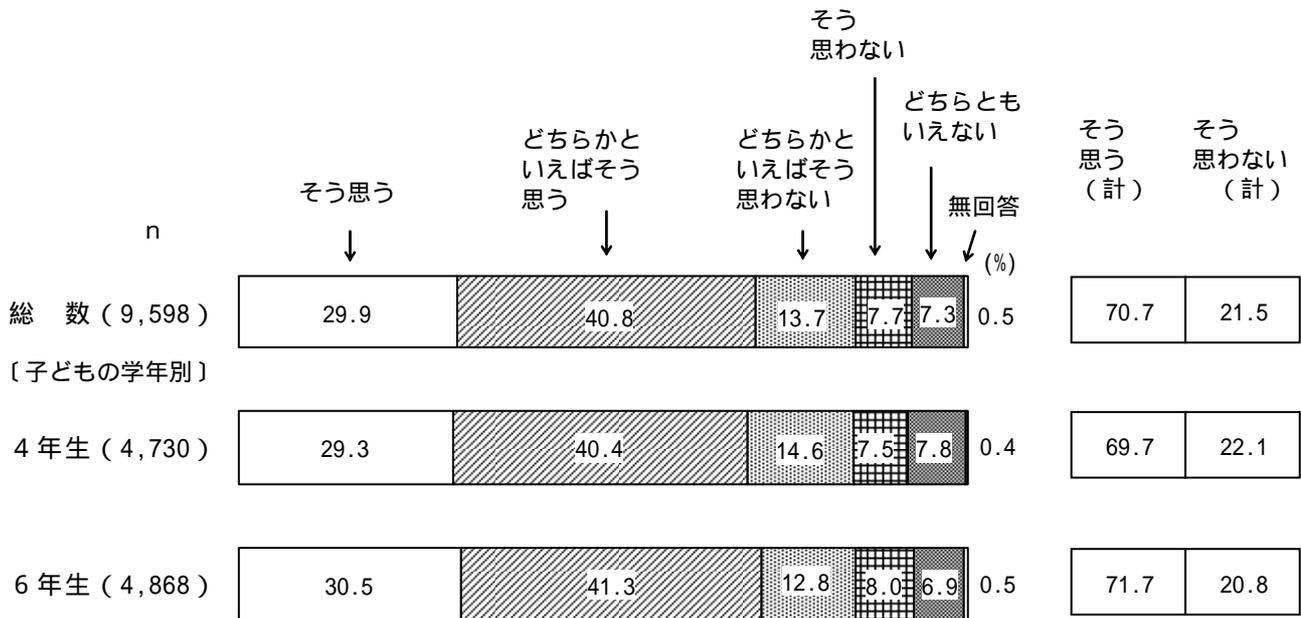
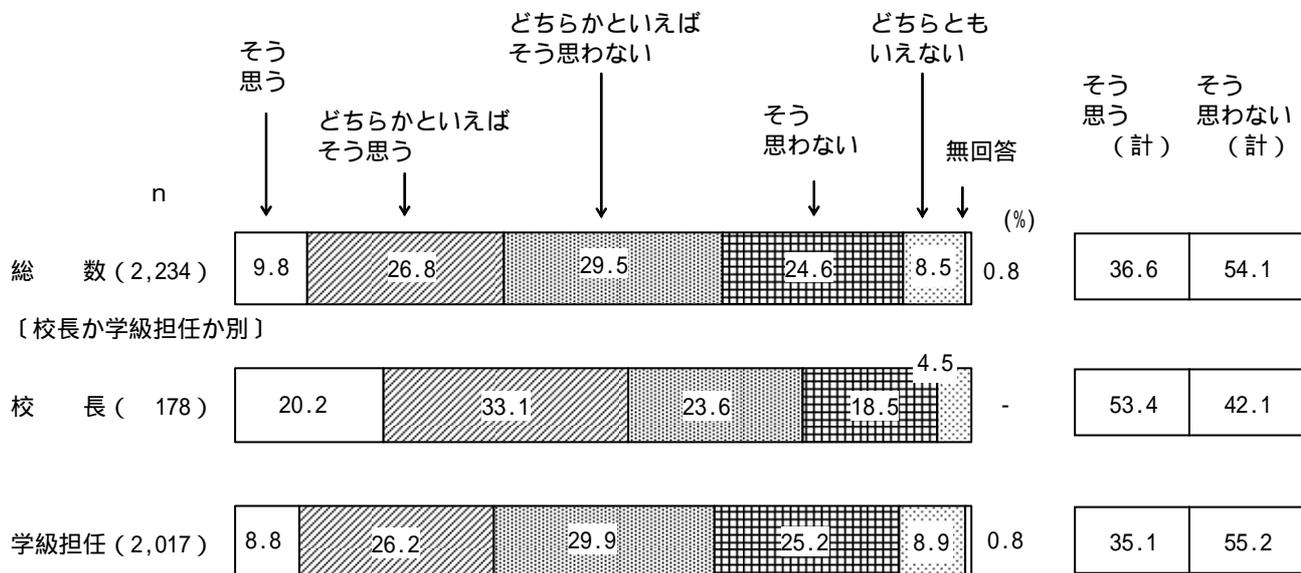


図3 - 3 小学校で英語教育を必修とすべきか（教員）



(2) 英語教育を必修とすべき理由

英語教育を小学校で必修とすべきと答えた保護者と教員に、必修とすべき理由について聞いたところ（複数回答）、保護者では、「早くから英語に親しませておいた方が英語に対する抵抗感がなくなると思うから（83.6%）」、「英語の発音は小学生のときから学んだ方が身に付くと思うから（50.5%）」、「英語は小学生のときから学んだ方が身に付くと思うから（46.4%）」、「中学校に入ってから英語に積極的に取り組めると思うから（41.8%）」、「外国人人とコミュニケーションを行おうとする態度が身に付くと思うから（36.7%）」等の順となっている。

また、教員では、「早くから英語に親しませておいた方が英語に対する抵抗感がなくなると思うから（76.4%）」、「外国人人とコミュニケーションを行おうとする態度が身に付くと思うから（63.6%）」、「英語の発音は小学生のときから学んだ方が身に付くと思うから（42.3%）」、「外国のことにに関して視野が広がると思うから（42.2%）」、「英語は小学生のときから学んだ方が身に付くと思うから（31.2%）」等の順となっている。（図3 - 4 , 3 - 5 , 3 - 6 参照）

図3 - 4 英語教育を必修とすべき理由（保護者 + 教員）

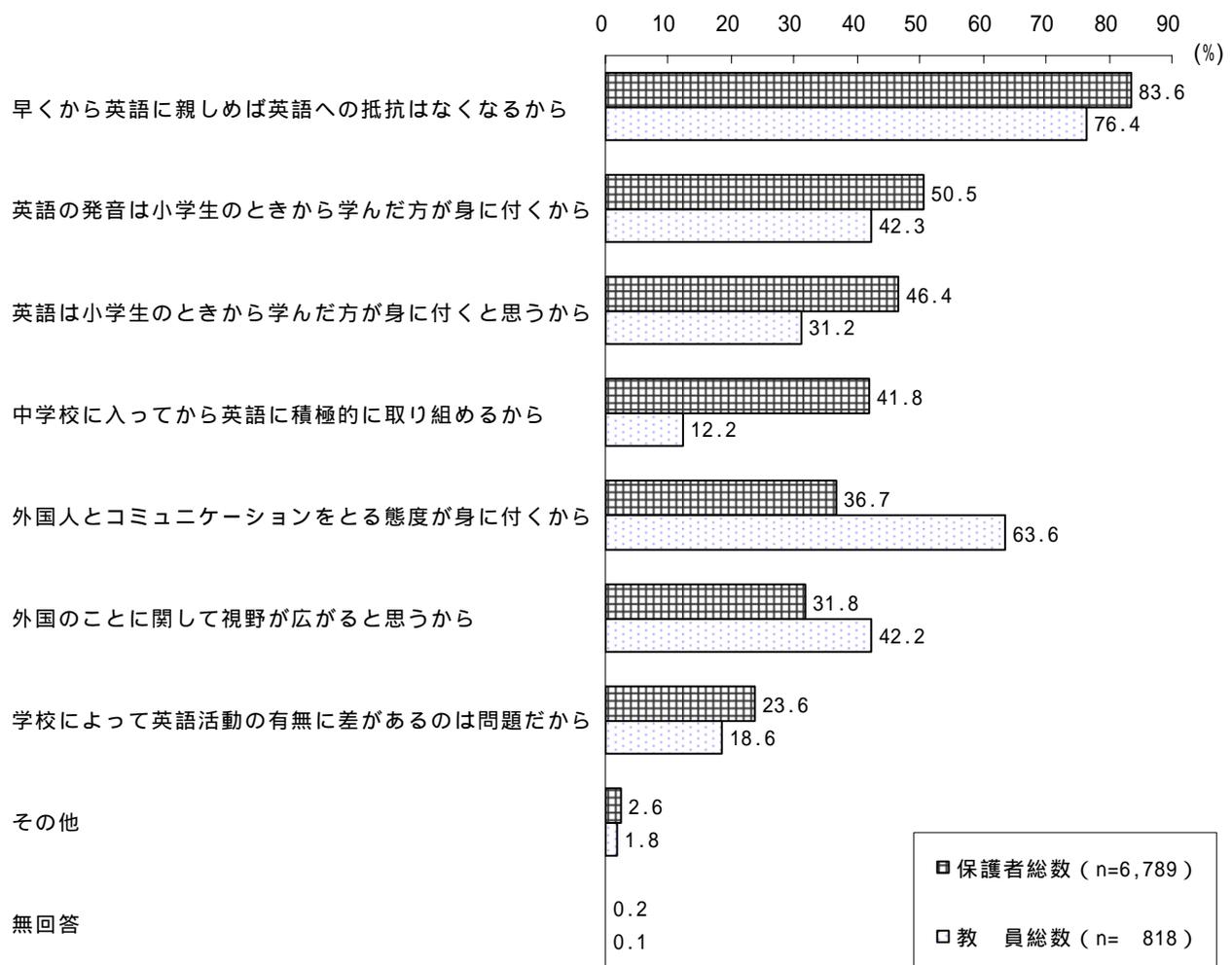


図3-5 英語教育を必修とすべき理由（保護者）

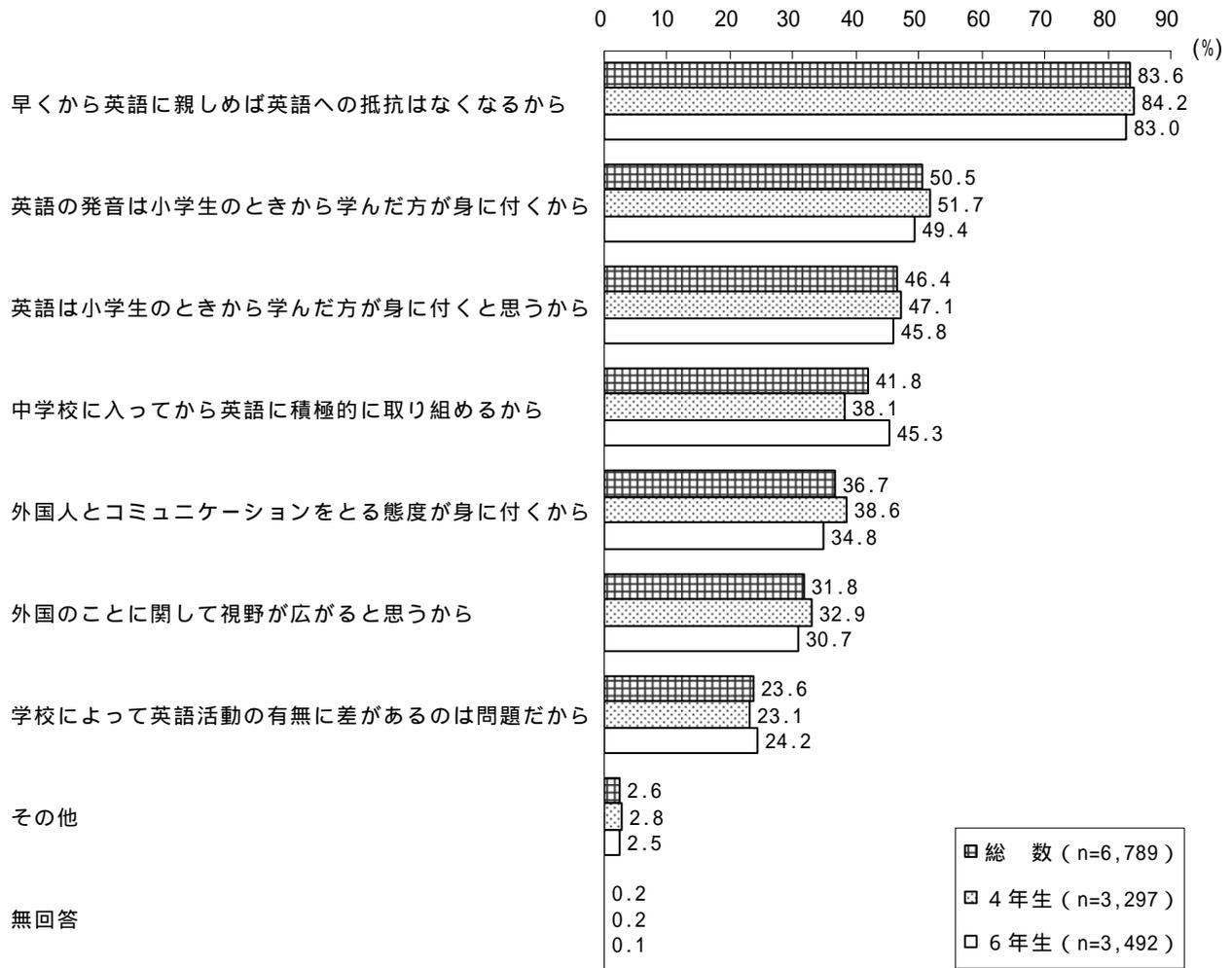
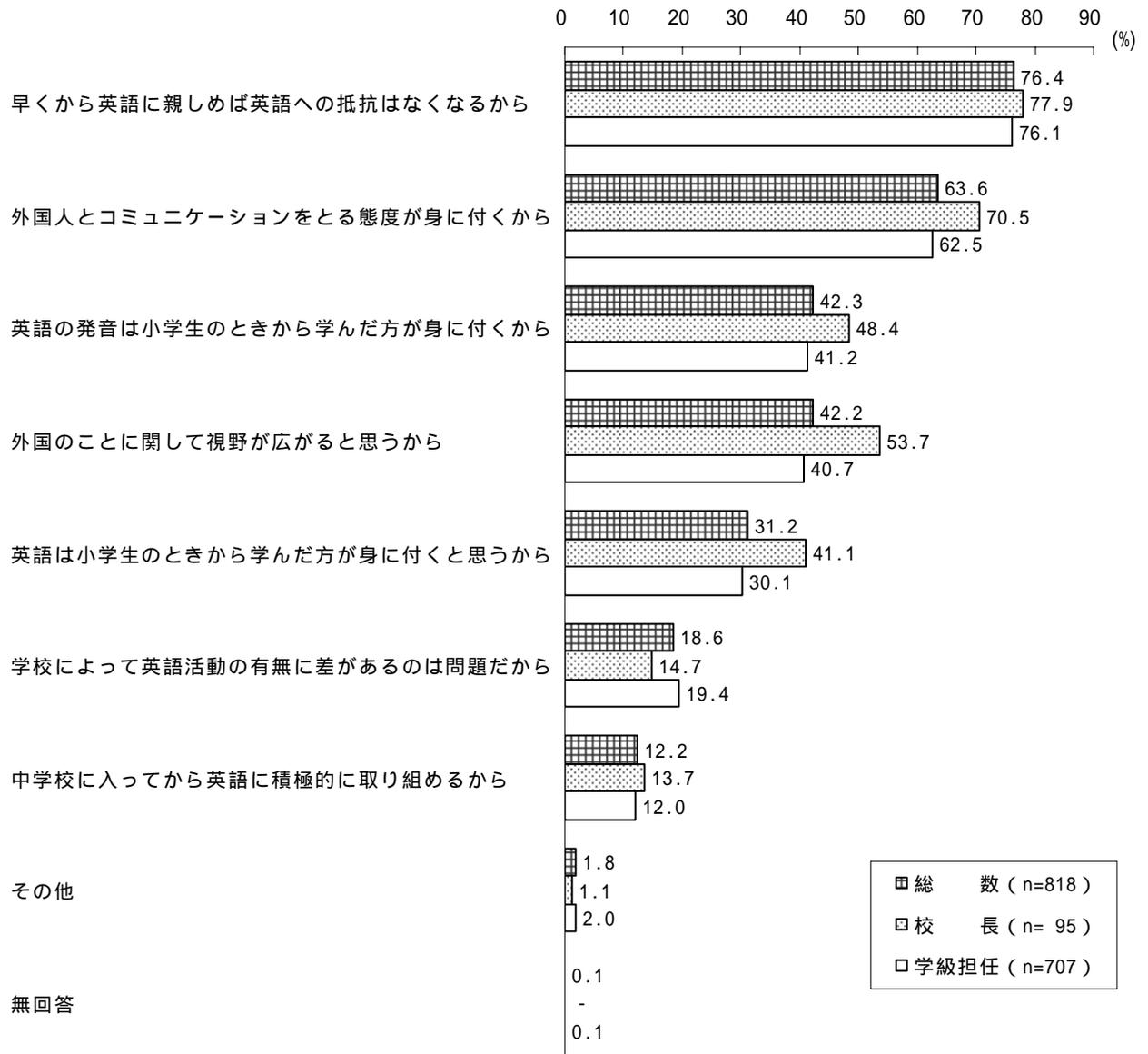


図3 - 6 英語教育を必修とすべき理由（教員）



(3) 英語教育を必修とすべきでない理由

英語教育を小学校で必修とすべきでないと答えた保護者と教員に、必修とすべきでない理由について聞いたところ（複数回答）、保護者では、「小学校では他の教科の内容をしっかりと学んでほしいと思うから（66.8%）」、「子どもの負担が増えると思うから（45.8%）」、「正しい日本語を身に付けることがおそれるから（38.8%）」、「中学校や高校に入ってからでも十分身に付くと思うから（23.6%）」、「小学校では英語を教えることができる先生が少ないから（23.3%）」等の順となっている。

また、教員では、「小学校では他の教科の内容をしっかりと学んでほしいと思うから（68.2%）」、「正しい日本語を身に付けることがおそれるから（44.0%）」、「子どもの負担が増えると思うから（43.9%）」、「小学校で英語を教えるかどうかは、地域や学校の実態に応じて各学校が判断すべきだと思うから（31.1%）」、「小学校では英語を教えることができる先生が少ないから（22.4%）」等の順となっている。（図3-7、3-8、3-9参照）

図3-7 英語教育を必修とすべきでない理由（保護者+教員）

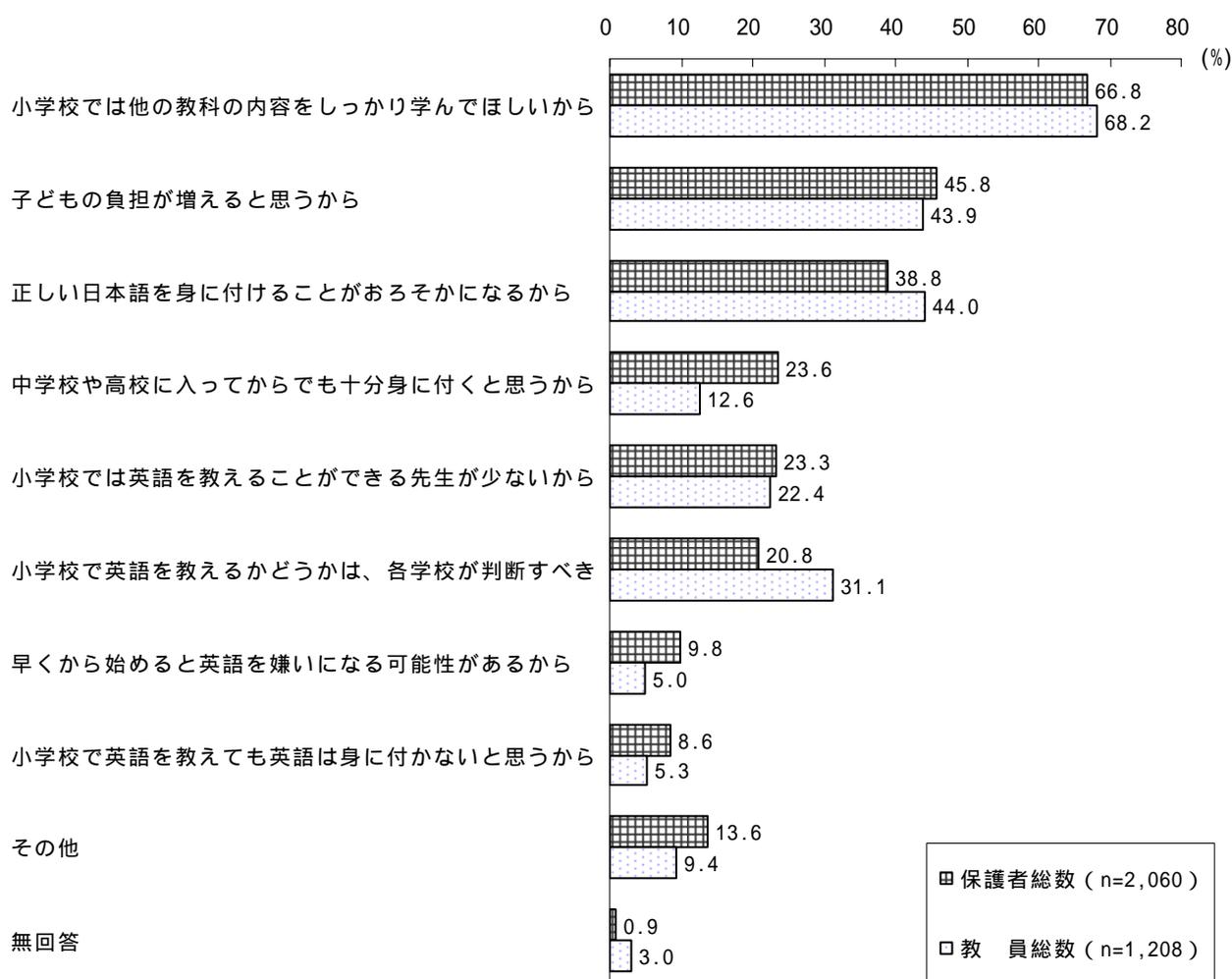


図3 - 8 英語教育を必修とすべきでない理由（保護者）

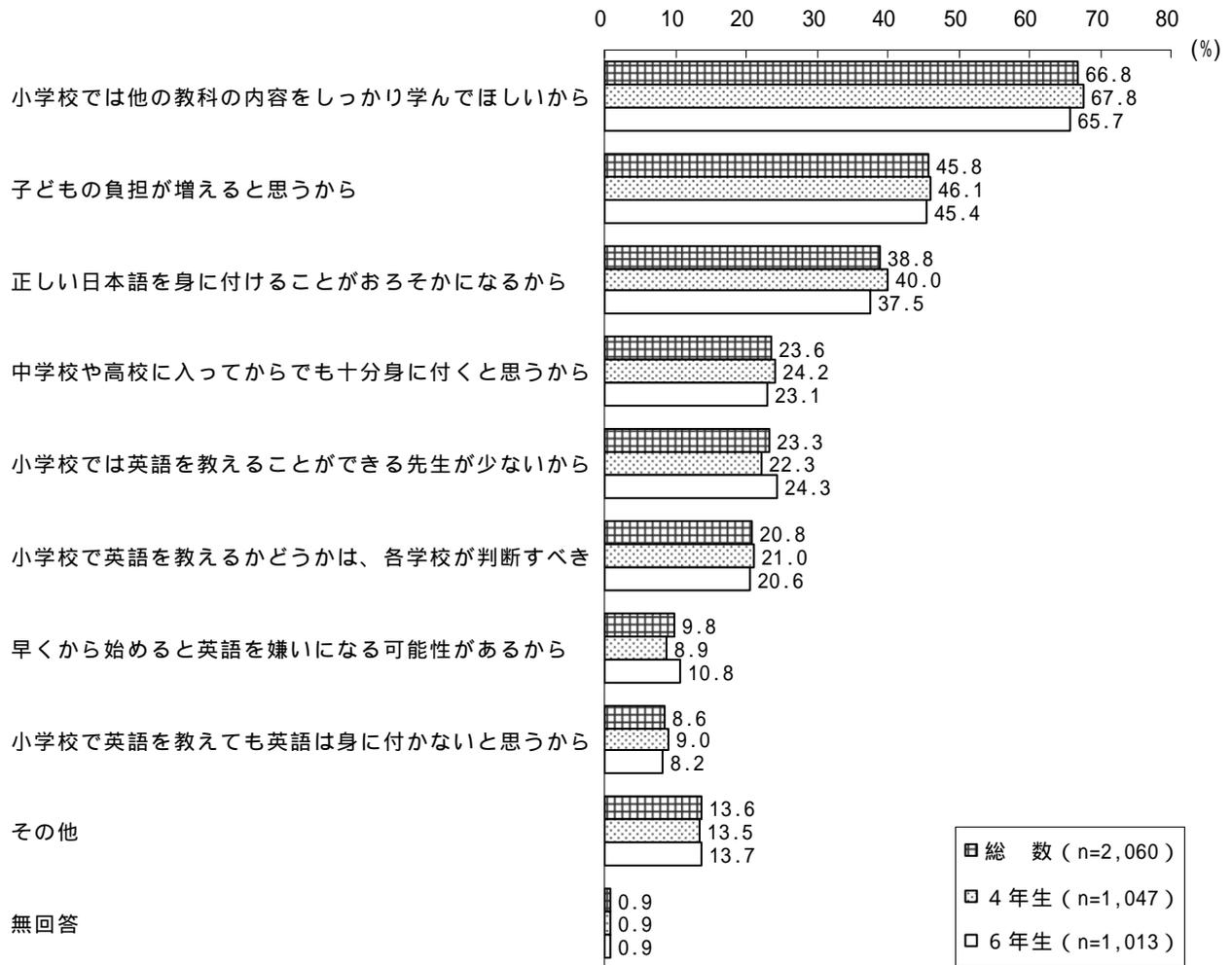
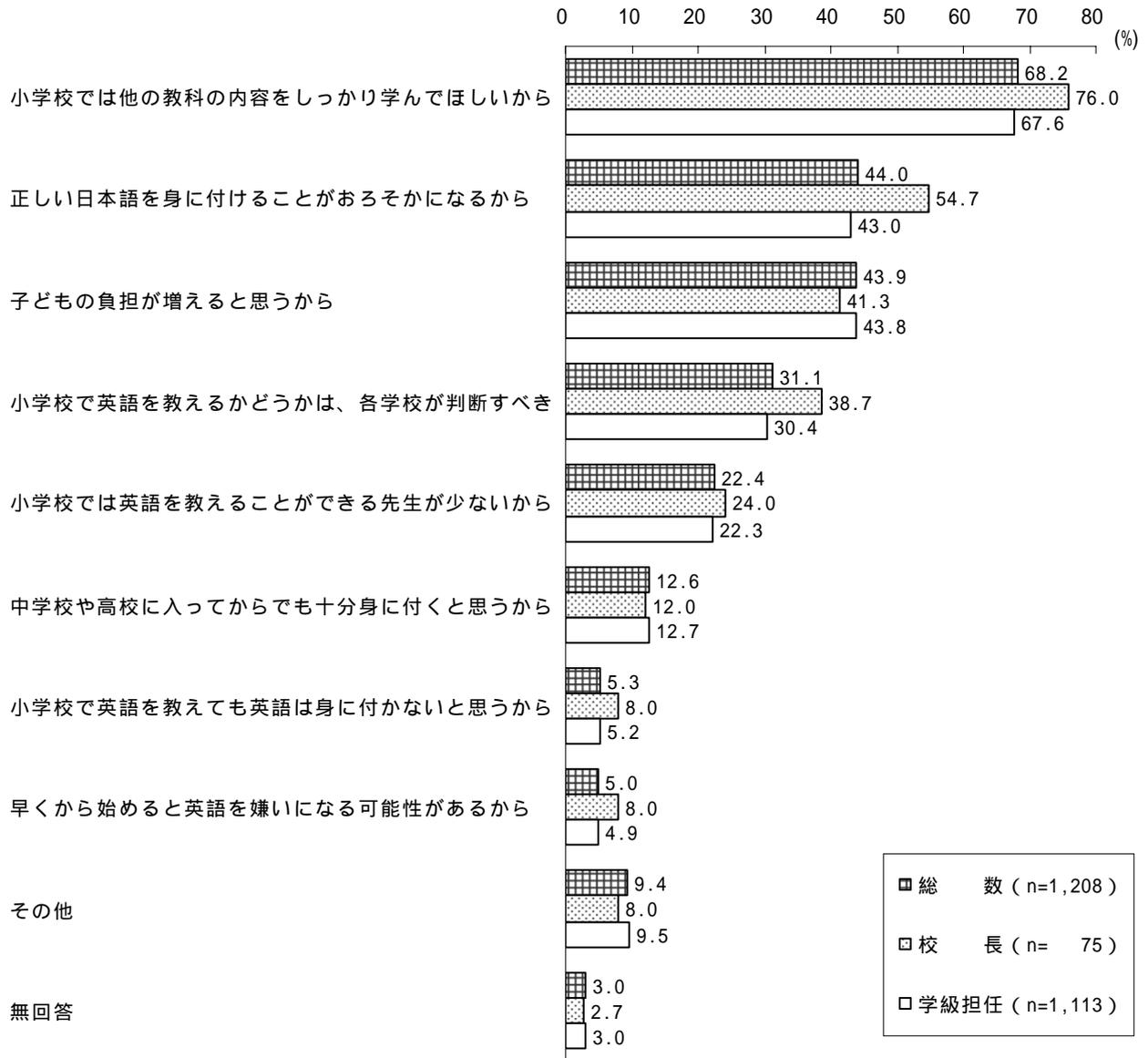


図 3 - 9 英語教育を必修とすべきでない理由（教員）



(4) 英語教育を必修とした場合の課題

すべての保護者と教員に、小学校で英語教育を必修とした場合の課題について聞いた（それぞれ単一回答）。

英語以外の教科等を教える時間が減ること

小学校で英語教育を必修とした場合に、英語以外の教科等を教える時間が減ることについてどう思うか聞いたところ、『やむを得ないと思う』（「やむを得ないと思う」と「どちらかといえばやむを得ないと思う」の計）と答えた割合は、保護者では48.4%，教員では24.8%となっている。

（図3 - 10，3 - 11，3 - 12 参照）

図3 - 10 英語教育を必修とする場合の課題（保護者+教員）
英語以外の教科等を教える時間が減ること

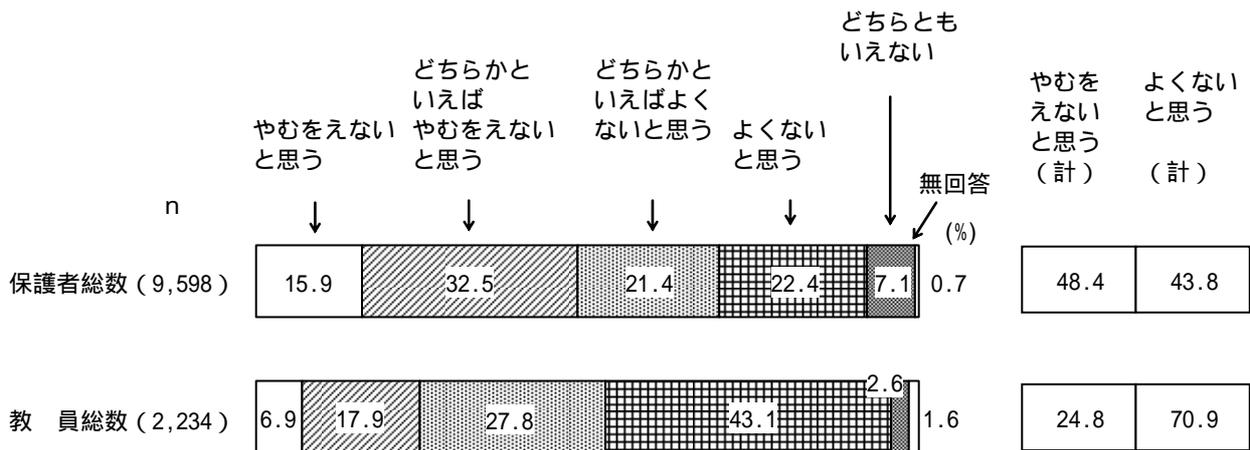


図3 - 11 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）
英語以外の教科等を教える時間が減ること

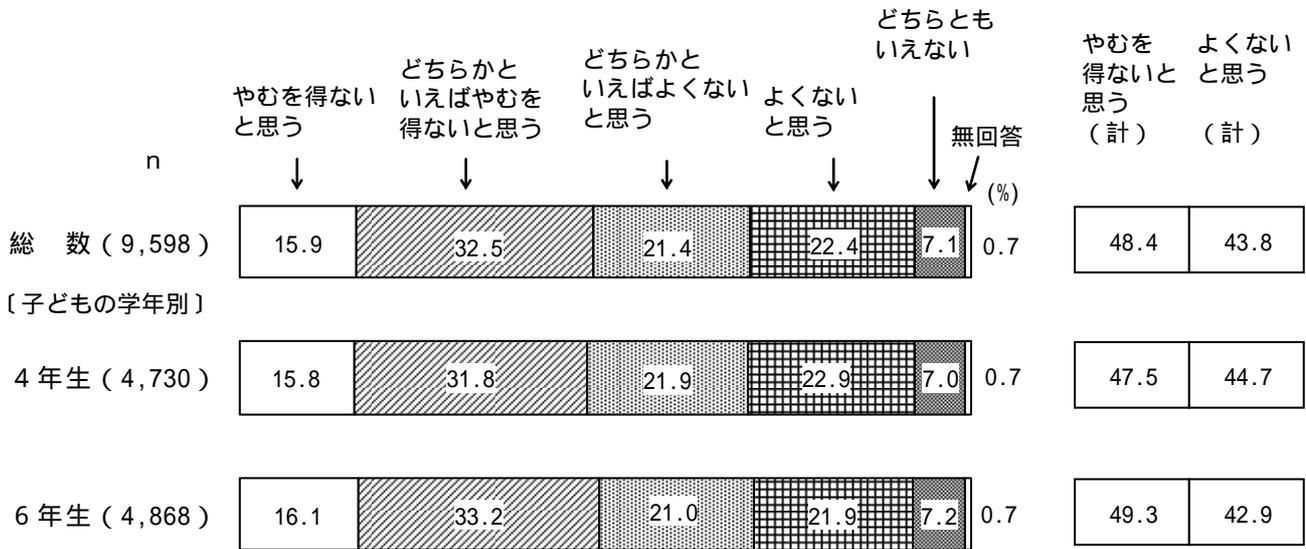
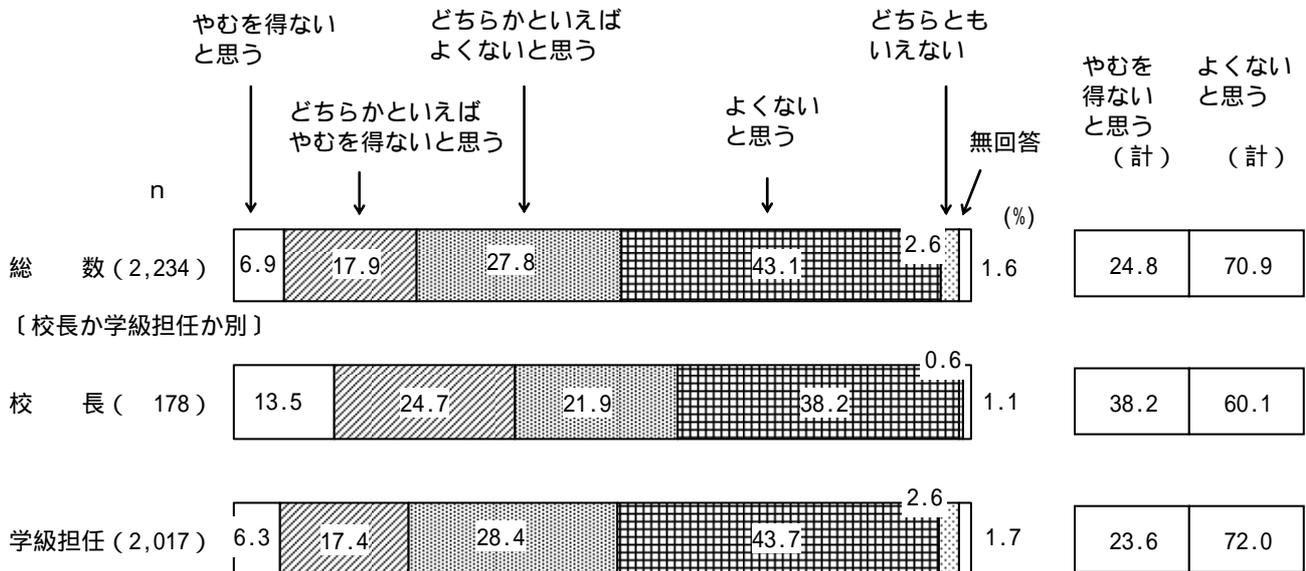


図3 - 12 英語教育を必修とする場合の課題（教員）
英語以外の教科等を教える時間が減ること



これまでよりも子どもの学習の負担が増えること

小学校で英語教育を必修とした場合に、これまでよりも子どもの学習の負担が増えることについてどう思うか聞いたところ、『やむを得ないと思う』（「やむを得ないと思う」と「どちらかといえばやむを得ないと思う」の計）と答えた割合は、保護者では60.4%，教員では23.7%となっている。

(図3 - 13, 3 - 14, 3 - 15 参照)

図3 - 13 英語教育を必修とする場合の課題（保護者 + 教員）

これまでよりも子どもの学習の負担が増えること

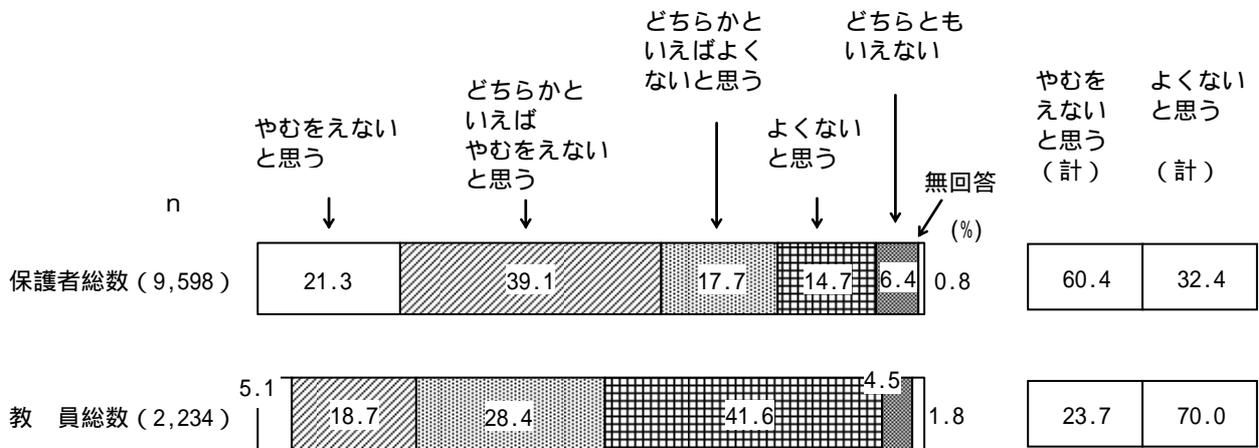


図3 - 14 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）
 これまでよりも子どもの学習の負担が増えること

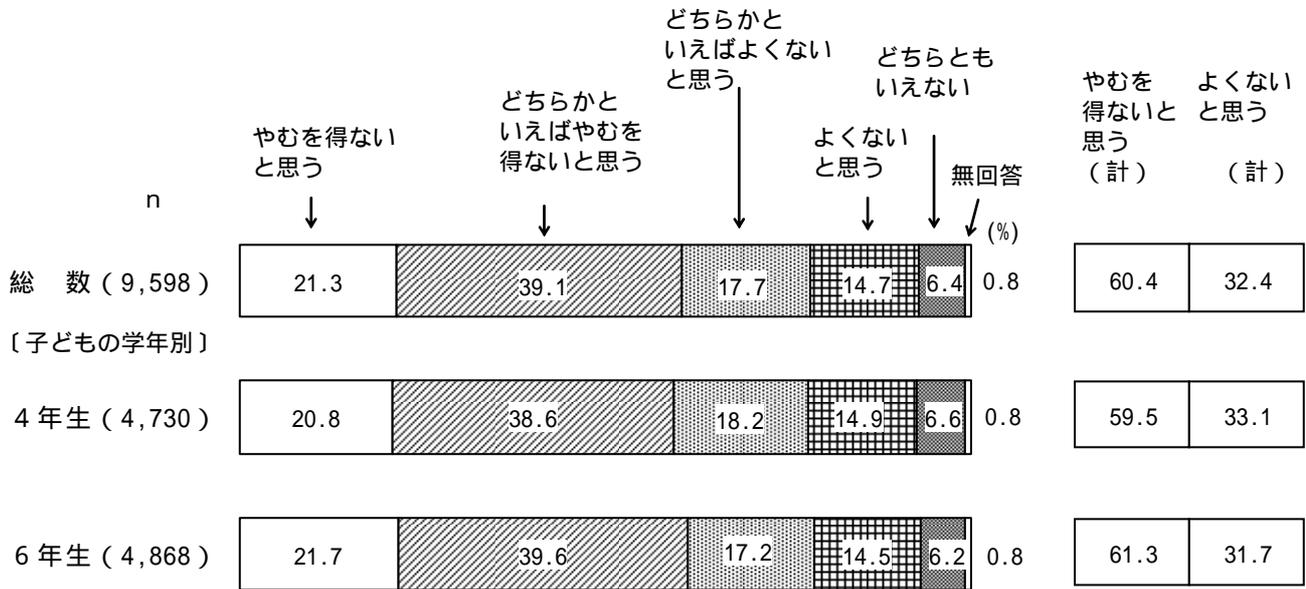
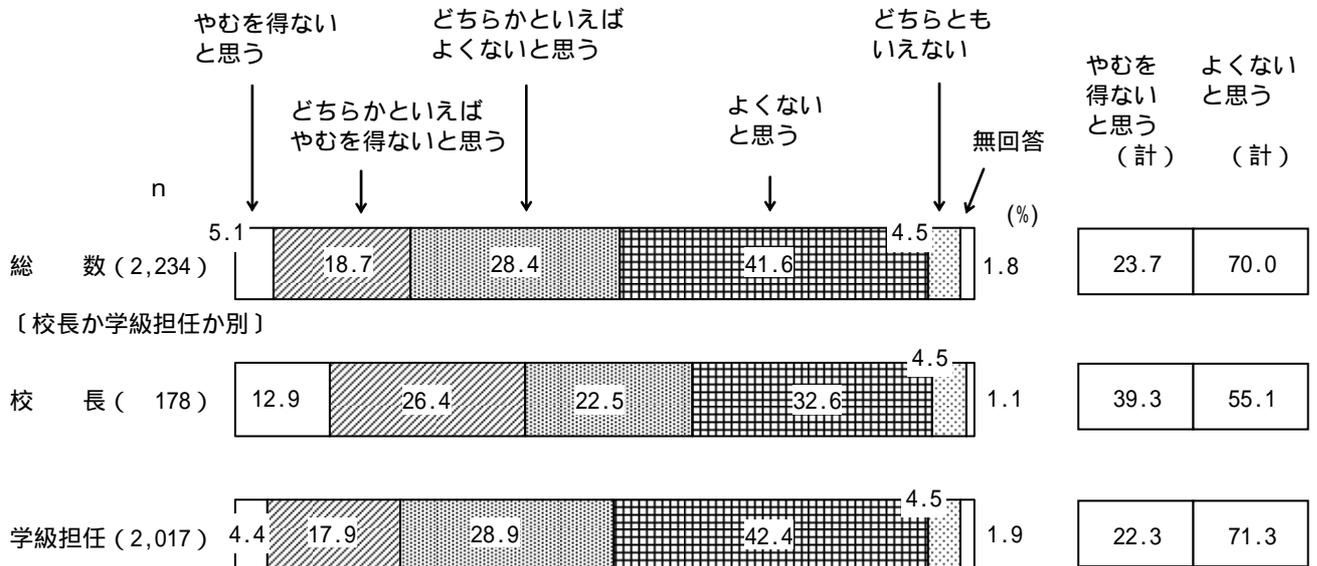


図3 - 15 英語教育を必修とする場合の課題（教員）
 これまでよりも子どもの学習の負担が増えること



英語が中学受験をする場合の科目になること

小学校で英語教育を必修とした場合に、英語が中学受験をする場合の科目になることについてどう思うか聞いたところ、『よいと思う』(「よいと思う」と「どちらかといえばよいと思う」の計)と答えた割合は、保護者では19.4%、教員では4.9%となっている。(図3-16, 3-17, 3-18参照)

図3-16 英語教育を必修とする場合の課題(保護者+教員)
英語が中学受験をする場合の科目になること

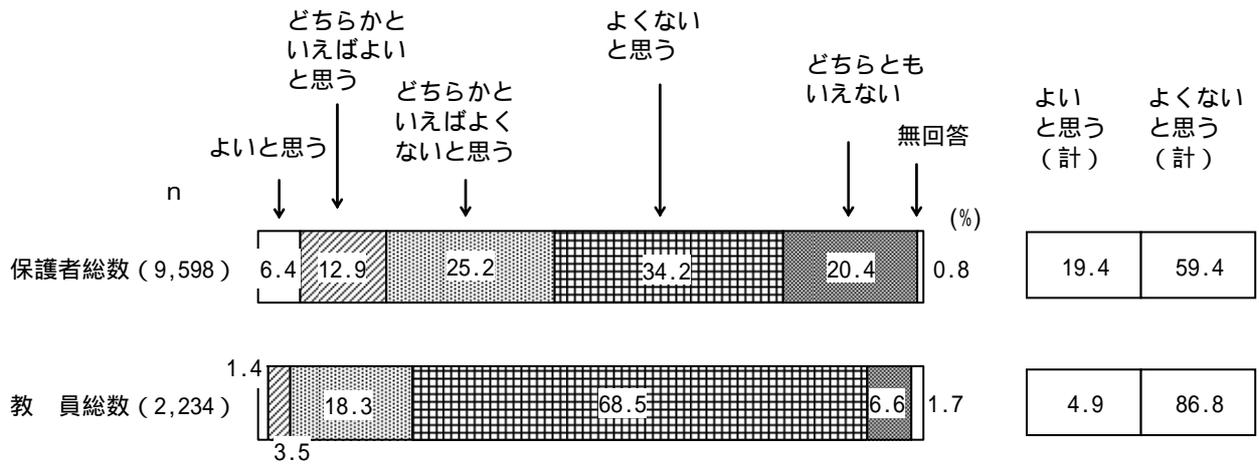


図3 - 17 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）
英語が中学受験をする場合の科目になること

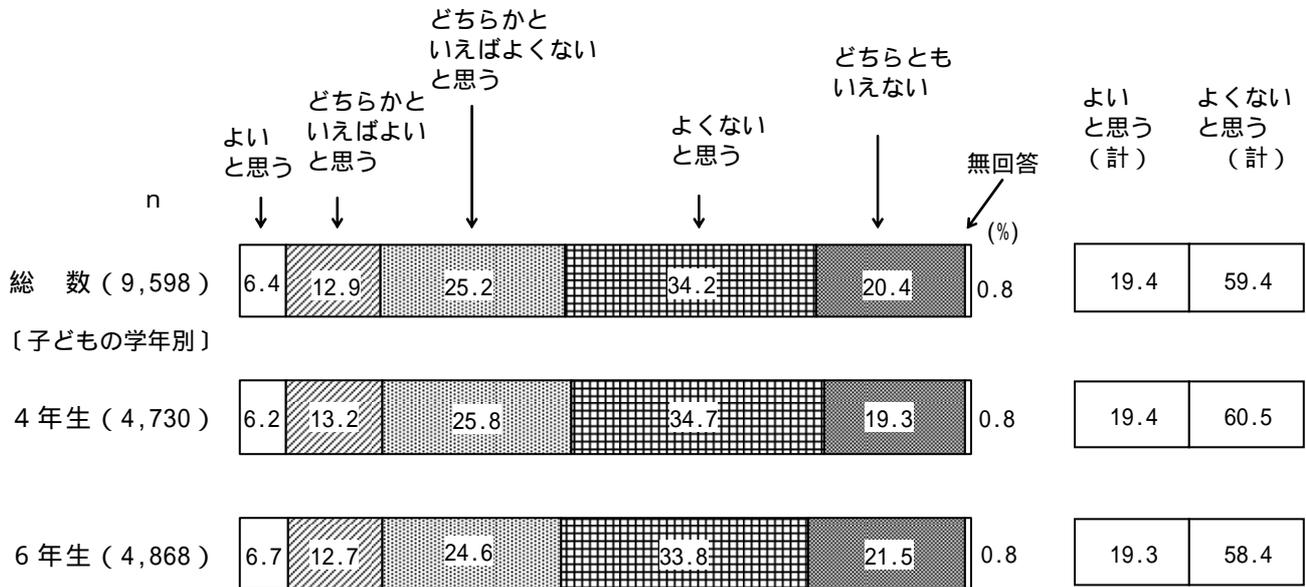
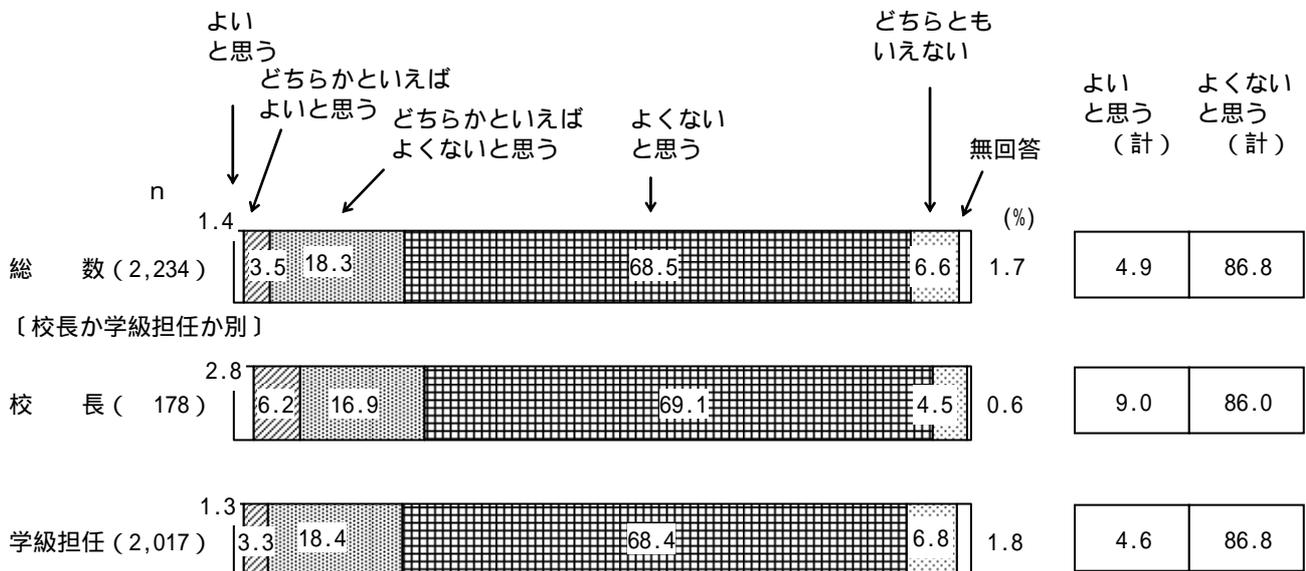


図3 - 18 英語教育を必修とする場合の課題（教員）
英語が中学受験をする場合の科目になること



例えば3・2・1やA・B・Cで成績をつけるなど、国語や算数などの教科と同じように評価すること

小学校で英語教育を必修とした場合に、例えば3・2・1やA・B・Cで成績をつけるなど、国語や算数などの教科と同じように評価することについてどう思うか聞いたところ、『よいと思う』(「よいと思う」と「どちらかといえばよいと思う」の計)と答えた割合は、保護者では28.8%，教員では7.0%となっている。(図3-19, 3-20, 3-21 参照)

図3-19 英語教育を必修とする場合の課題(保護者+教員)

例えば3・2・1やA・B・Cで成績をつけるなど、
国語や算数などの教科と同じように評価すること

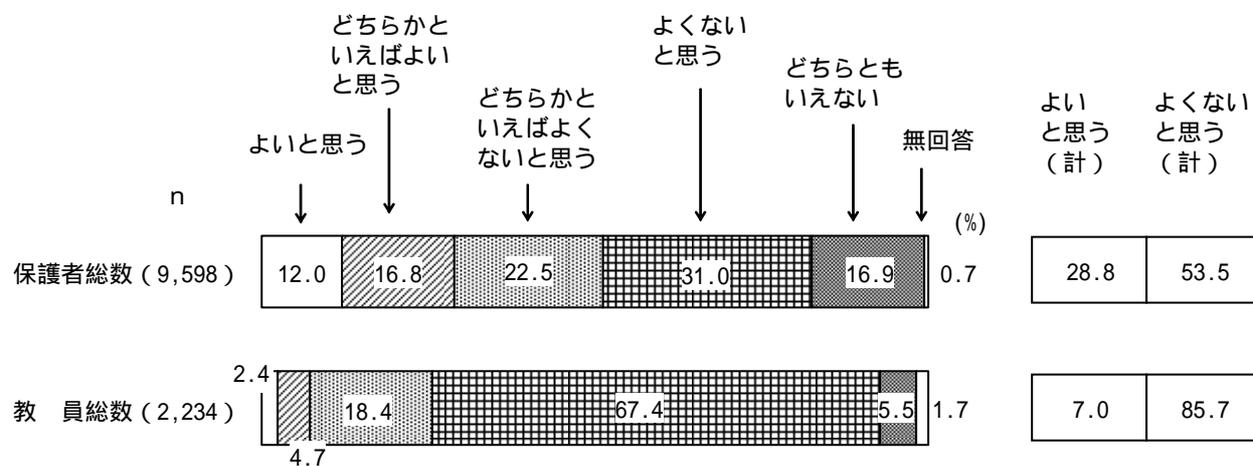


図3-20 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）
 例えば3・2・1やA・B・Cで成績をつけるなど、
 国語や算数などの教科と同じように評価すること

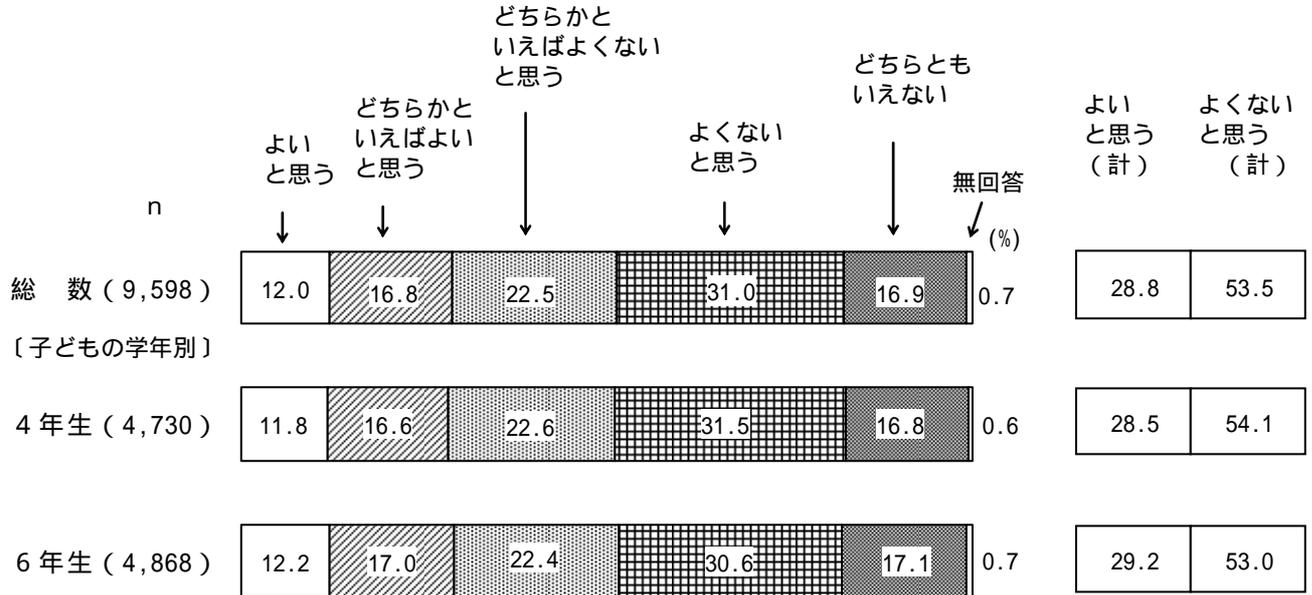
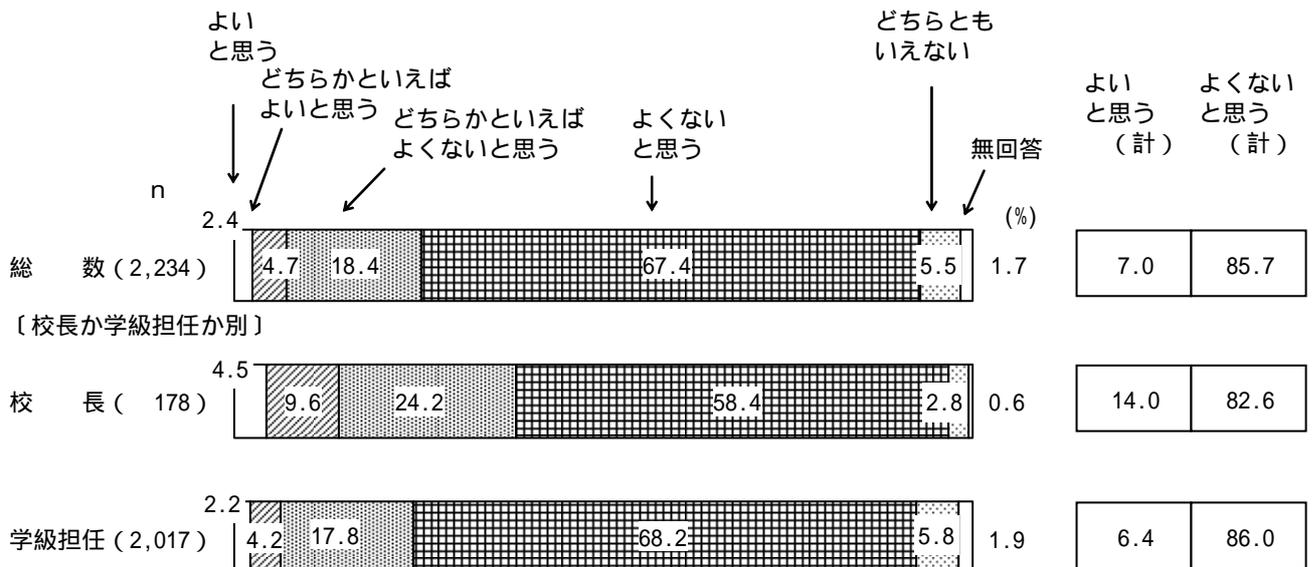


図3-21 英語教育を必修とする場合の課題（教員）
 例えば3・2・1やA・B・Cで成績をつけるなど、
 国語や算数などの教科と同じように評価すること



現在中学校で教えている，英語の文章を読んだり書いたりすることまで，小学校で教えること

小学校で英語教育を必修とした場合に，現在中学校で教えている英語の文章を読んだり書いたりすることまで小学校で教えることについてどう思うか聞いたところ，『よいと思う』（「よいと思う」と「どちらかといえばよいと思う」の計）と答えた割合は，保護者では23.6%，教員では3.3%となっている。

（図3 - 22，3 - 23，3 - 24 参照）

図3 - 22 英語教育を必修とする場合の課題（保護者 + 教員）

現在中学校で教えている，英語の文章を読んだり書いたりすることまで，小学校で教えること

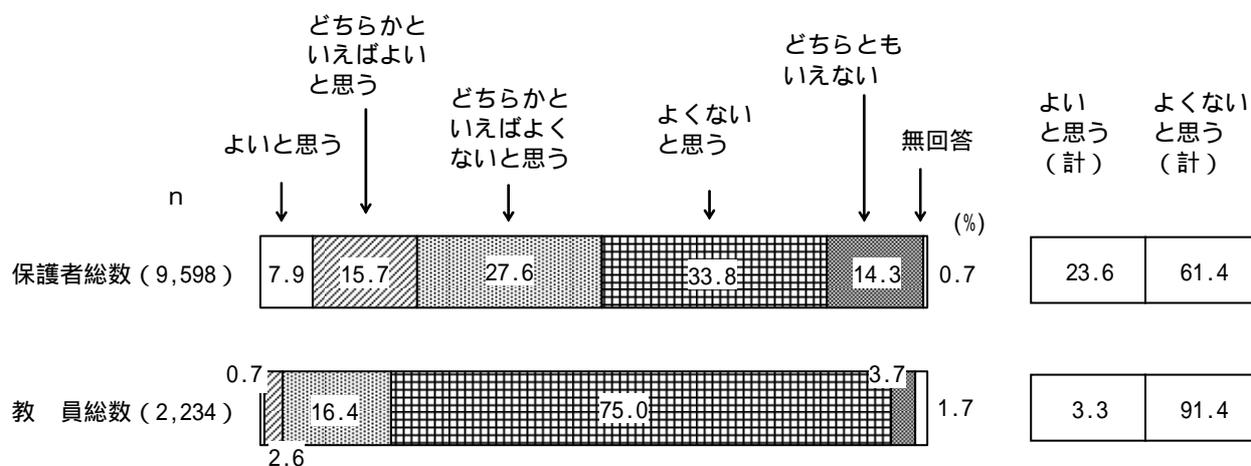


図3-23 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）

現在中学校で教えている，英語の文章を読んだり書いたりすることまで，小学校で教えること

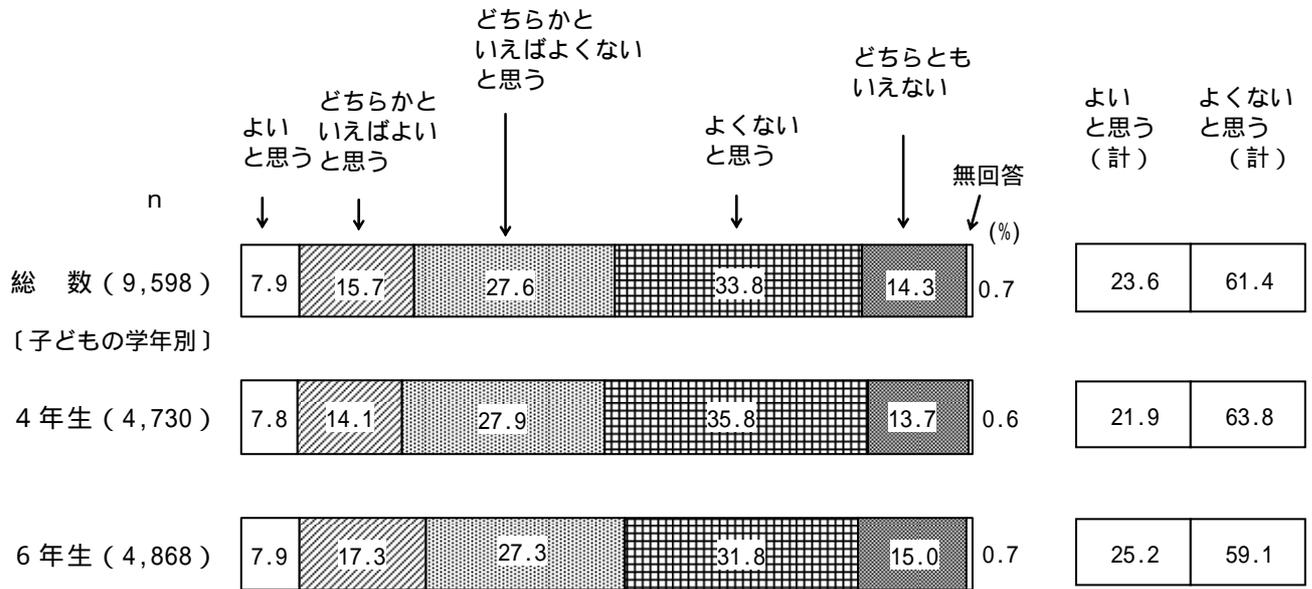
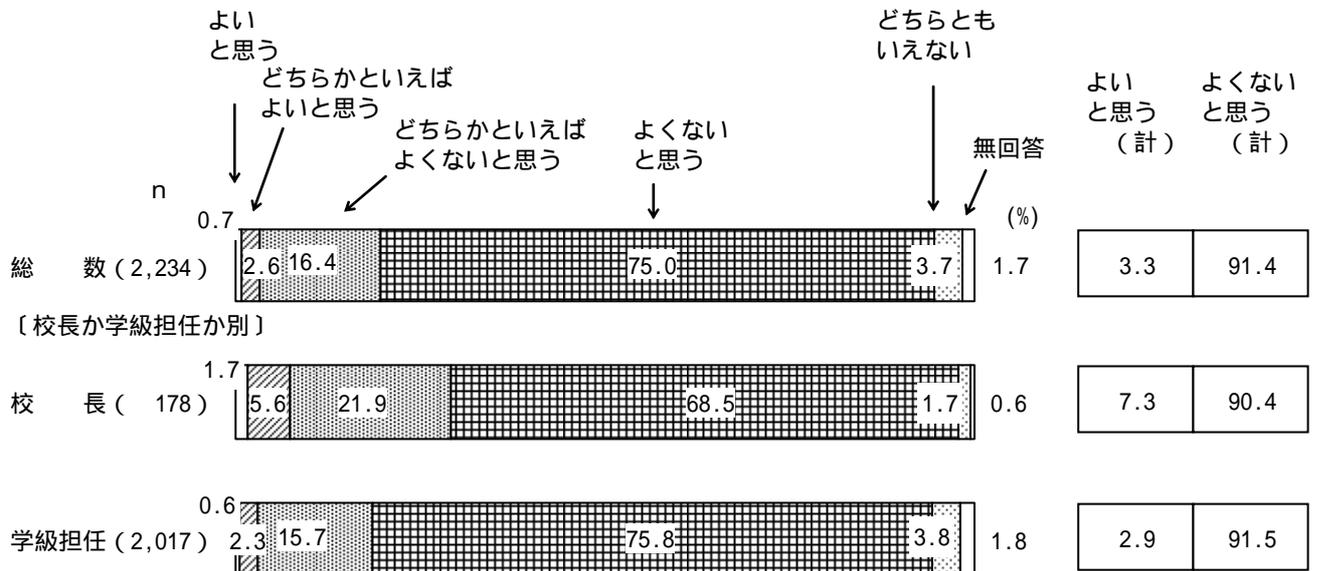


図3-24 英語教育を必修とする場合の課題（教員）

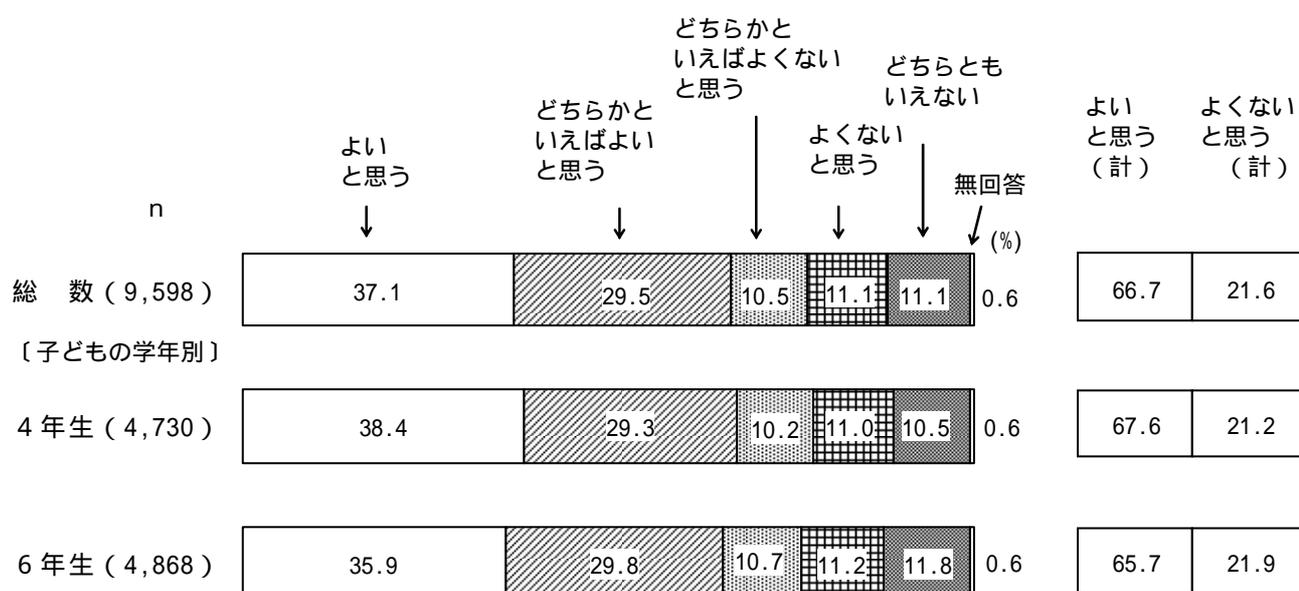
現在中学校で教えている，英語の文章を読んだり書いたりすることまで，小学校で教えること



低学年から英語を教えること

すべての保護者に、小学校で英語教育を必修とした場合に、小学校の低学年から英語を教えることについてどう思うか聞いたところ（単一回答）、『よいと思う』（「よいと思う」と「どちらかといえばよいと思う」の計）と答えた割合は、66.7%だった。（図3 - 25 参照）

図3 - 25 英語教育を必修とする場合の課題（保護者）
低学年から英語を教えること



(5) どの学年から教えるべきか

すべての教員に、小学校で英語教育を必修とした場合に、どの学年から教えるのがよいと思うか聞いたところ（単一回答）、『低学年から』（「1年生から」と「2年生から」の計）は50.5%、『中学年から』（「3年生から」と「4年生から」の計）は26.7%、『高学年から』（「5年生から」と「6年生から」の計）は15.6%、となっている。（図3 - 26 参照）

図3 - 26 どの学年から教えるべきか（教員）

